

# CITIZEN

2016年度(平成29年 3 月期) 第 1 四半期

---

決算説明会

**シチズンホールディングス株式会社**

2016年8月12日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

## 決算のポイント

- 2016年度第1四半期実績
  - ・ 時計事業の売上・営業利益が下振れ
  - ・ 為替差損により、経常利益/純利益は大幅減益
- 2016年度通期連結業績予想
  - ・ 第2四半期以降の想定為替レートを変更  
(USD: ¥110⇒¥100、EUR: ¥125⇒¥110)
  - ・ 市況の変化を業績予想に織り込み、予想を修正

# 2016年度 第1四半期連結業績概要

(単位:億円)	2015年1Q	2016年1Q	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
売上高	836	766	▲8.4%	▲70
営業利益	63	46	▲27.5%	▲17
営業利益率	7.6%	6.0%	-	-
経常利益	76	27	▲63.6%	▲48
親会社株主に帰属する四半期純利益	51	23	▲55.4%	▲28
為替レートの影響	¥121/USD ¥131/EUR	¥111/USD ¥125/EUR	-	

為替の影響	売上高	営業利益
USD	+13.0億円	+3.0億円
EUR	+2.0億円	+0.7億円

(1円の円安 年間)

## セグメント別業績推移 売上高

(単位:億円)	2015年1Q	2016年1Q	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
時計事業	430	372	▲13.4%	▲57
工作機械事業	122	129	+5.8%	+7
デバイス事業	198	183	▲7.5%	▲14
電子機器事業	57	55	▲2.9%	▲1
その他の事業	27	25	▲10.2%	▲2
合計	836	766	▲8.4%	▲70

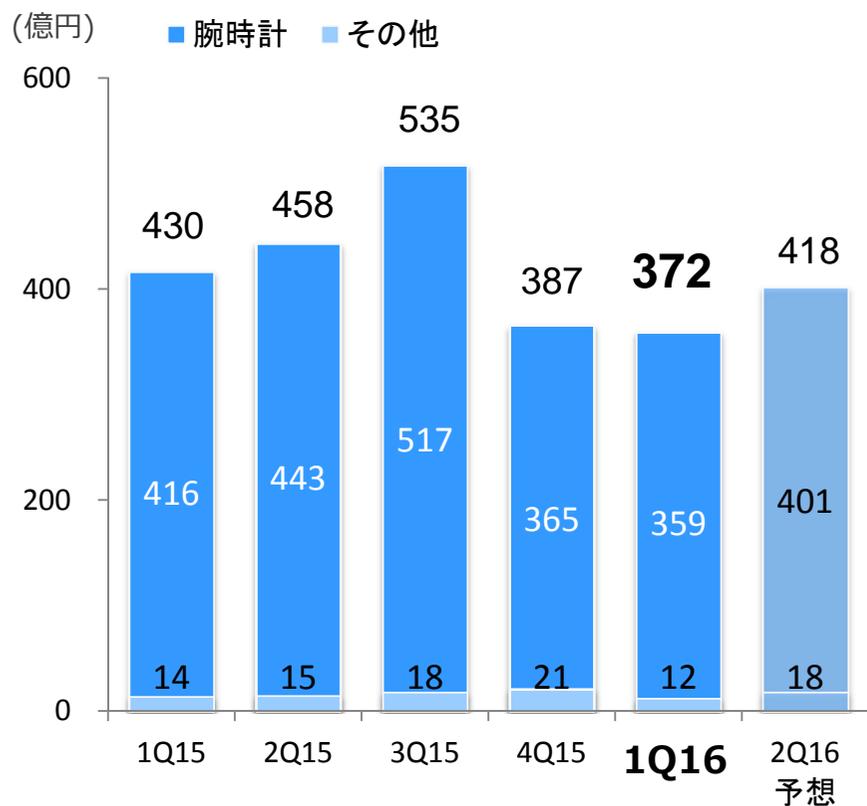
# セグメント別業績推移 営業利益

	2015年1Q	2016年1Q	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
時計事業	45 (10.4%)	22 (6.1%)	▲49.2%	▲22
工作機械事業	12 (10.0%)	19 (15.1%)	+59.5%	+7
デバイス事業	17 (8.6%)	11 (6.4%)	▲30.8%	▲5
電子機器事業	0 (0.0%)	1 (2.1%)	-%	+1
その他の事業	▲1 (▲3.9%)	0 (2.0%)	-%	+1
消去又は全社	▲9	▲9	-	-
合計	63 (7.6%)	46 (6.0%)	▲27.5%	▲17

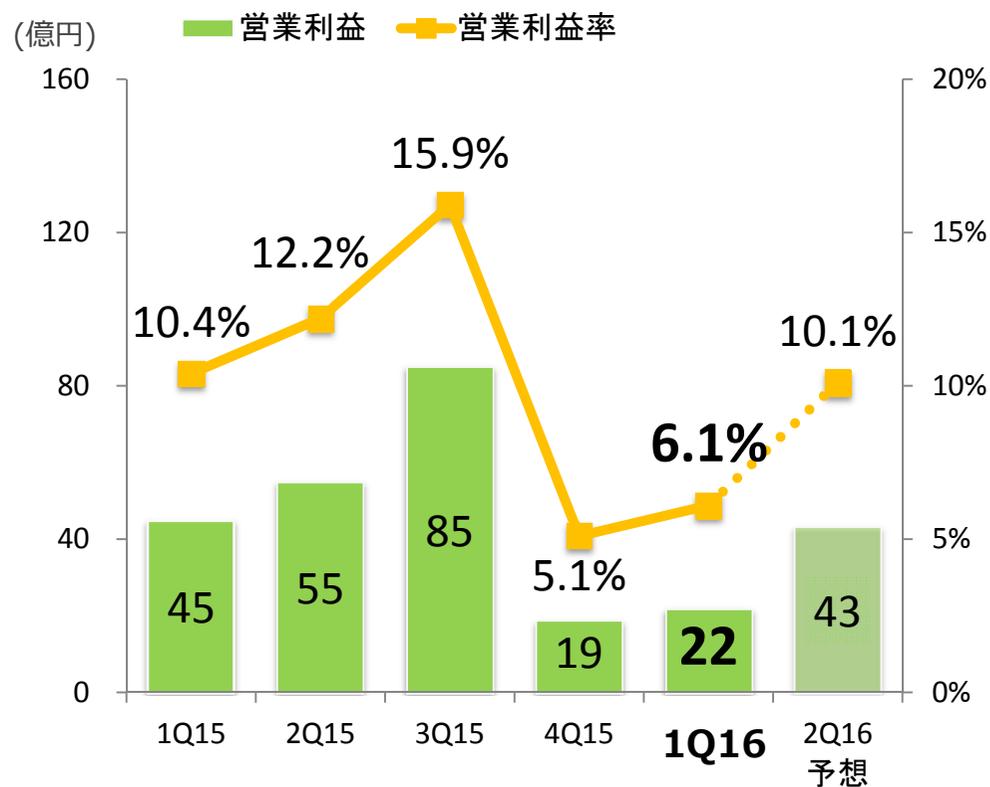
# 時計事業 第1四半期業績推移

- ・国内市場は、インバウンド需要の落ち込みで苦戦し、減収
- ・海外市場は、円高が大きく影響し、減収
- ・ムーブメント販売は、世界的な時計需要の減退で販売が低迷し、減収

## 売上高



## 営業利益

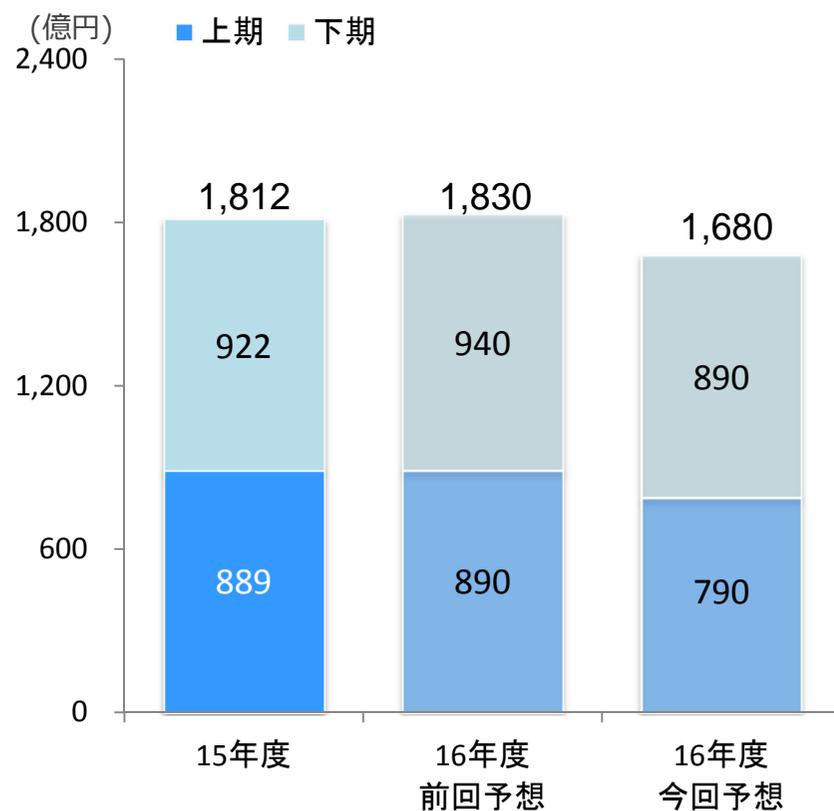


# 時計事業 通期業績予想

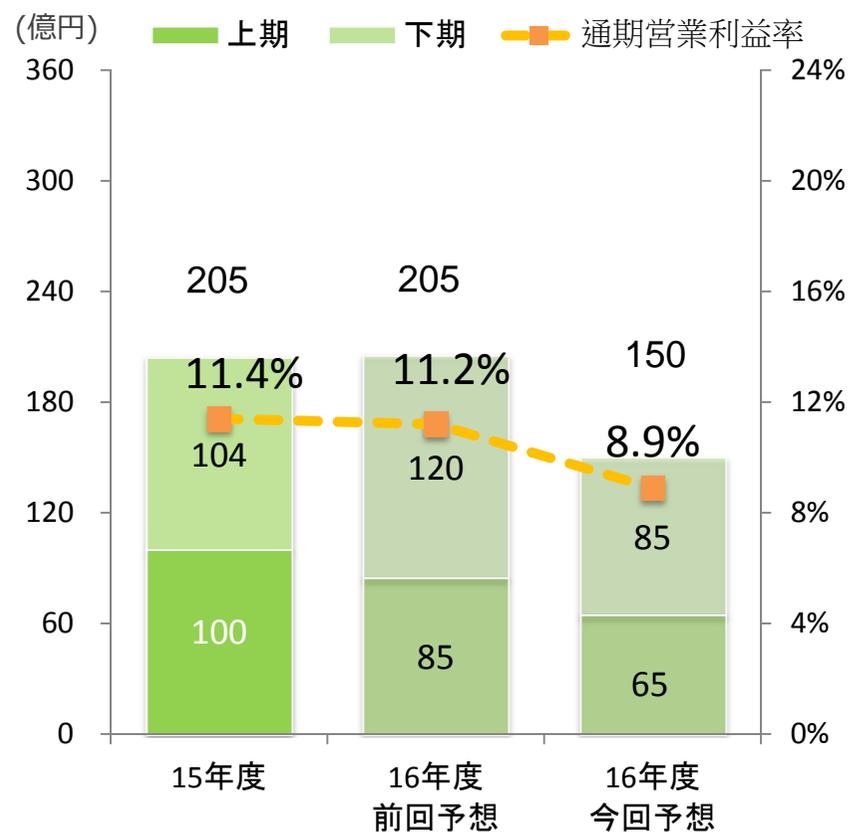
上期予想前回対比 : 売上高▲100億円 (▲11.2%)  
 下期予想前回対比 : 売上高▲ 50億円 (▲ 5.3%)  
 通期予想前回対比 : 売上高▲150億円 (▲ 8.2%)

営業利益▲20億円 (▲23.5%)  
 営業利益▲35億円 (▲29.2%)  
 営業利益▲55億円 (▲26.8%)

## 売上高



## 営業利益



# 工作機械事業 第1四半期業績推移

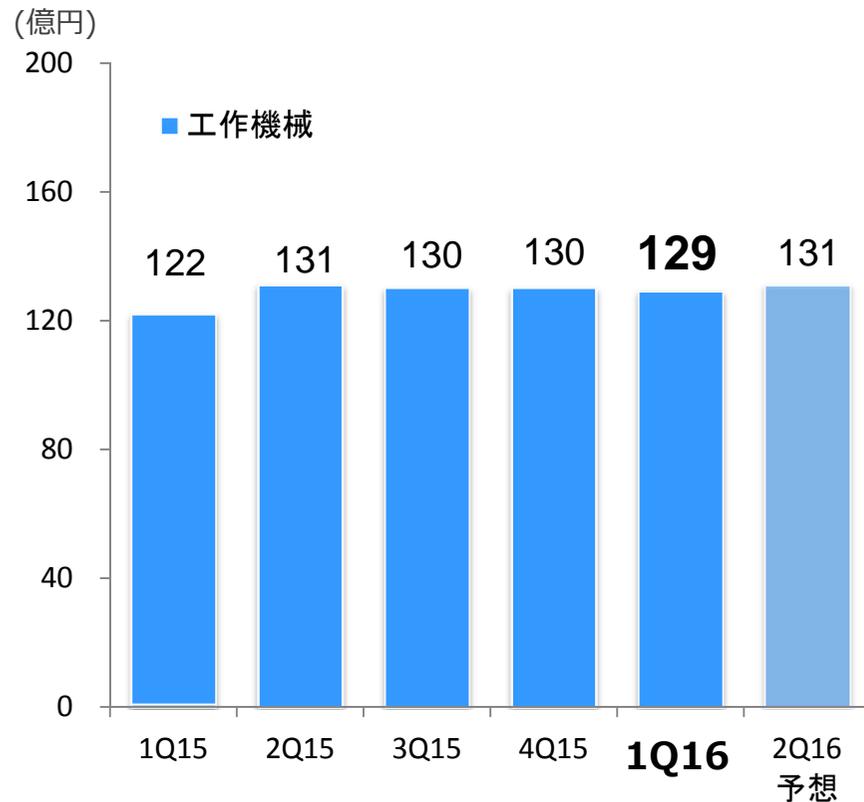
国内市場は、政府補助金採択待ちによる一時的な停滞がみられた

米州市場は、需要に一服感がみられる

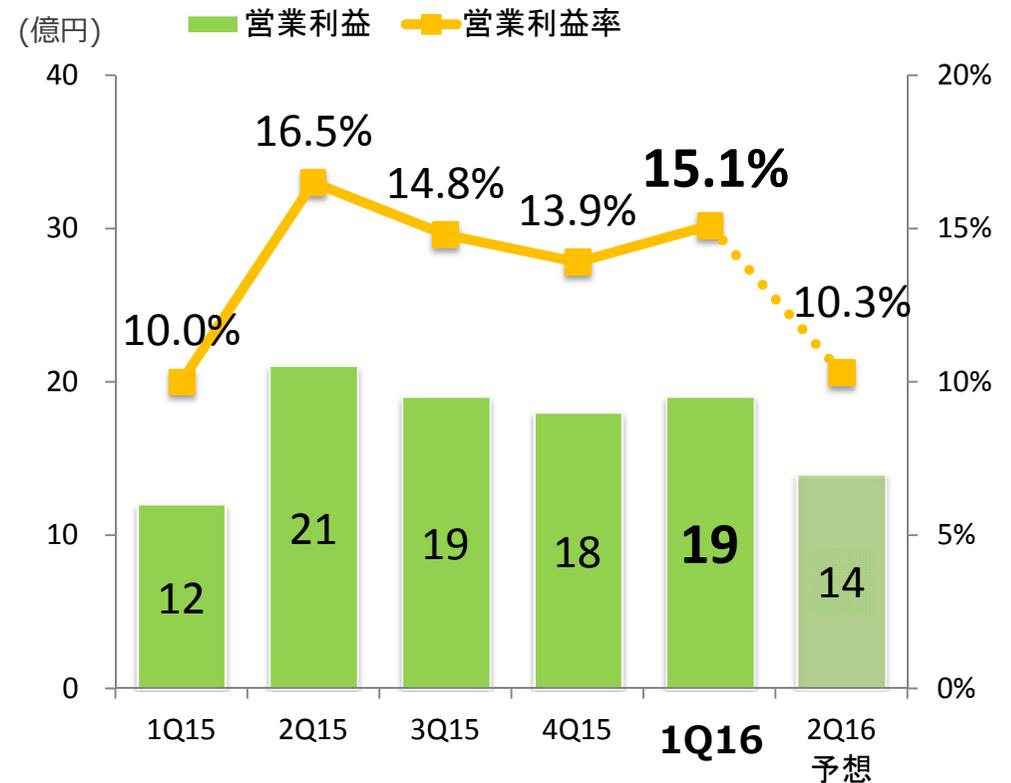
欧州市場は、安定した状況が続いている

アジア市場は、右肩上がりの回復ではないものの、徐々に底打ち感もあらわれてきている

## 売上高



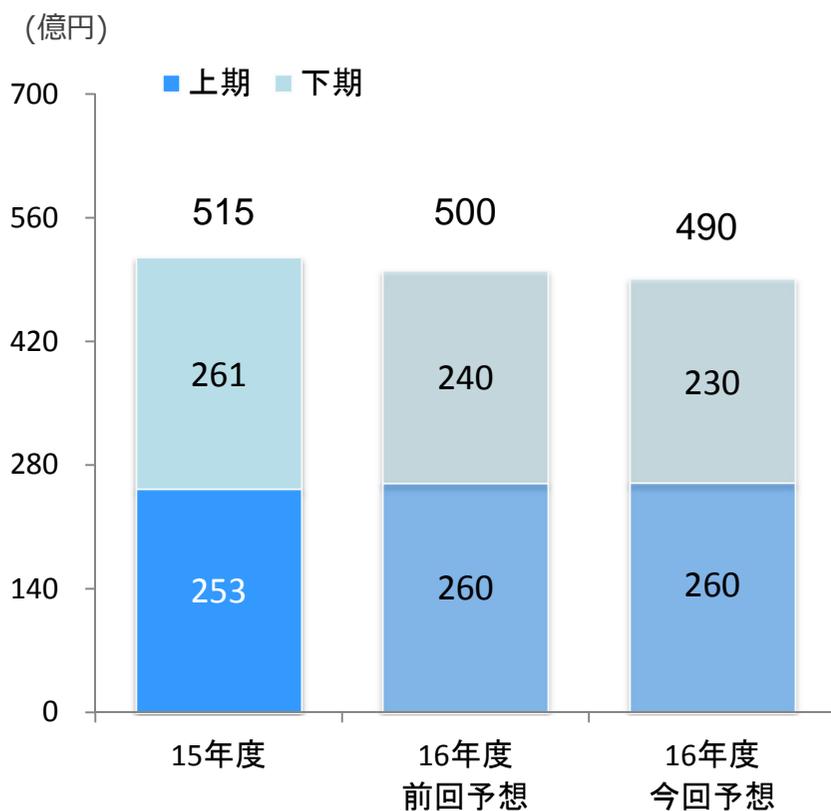
## 営業利益



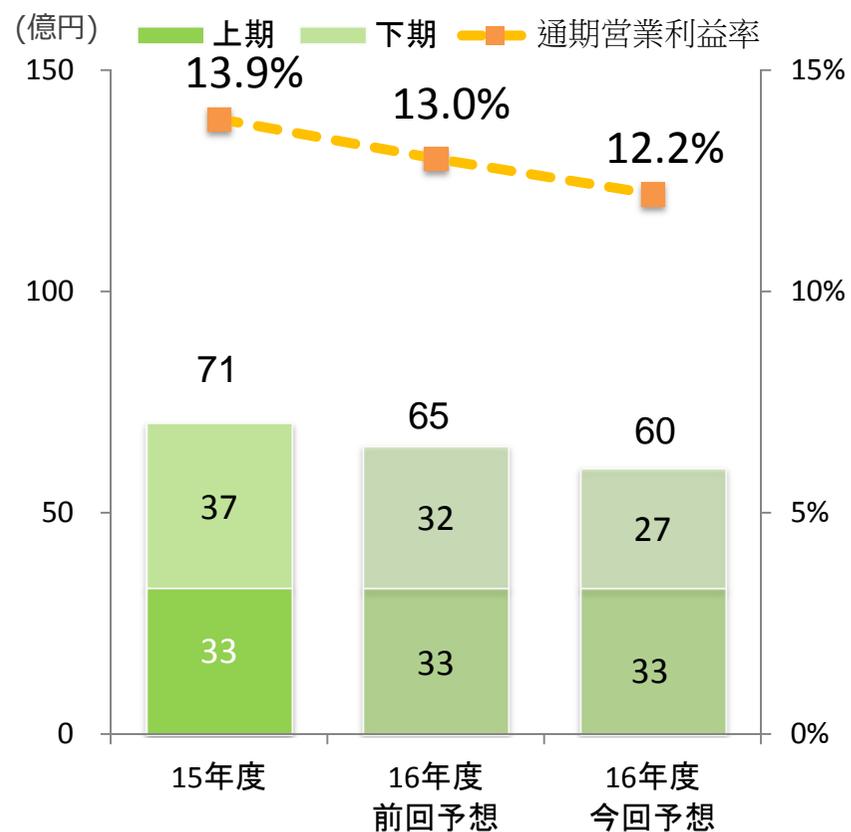
# 工作機械事業 通期業績予想

下期予想前回対比 : 売上高▲10億円 (▲4.2%)      営業利益▲5億円 (▲15.6%)  
 通期予想前回対比 : 売上高▲10億円 (▲2.0%)      営業利益▲5億円 (▲7.7%)

## 売上高



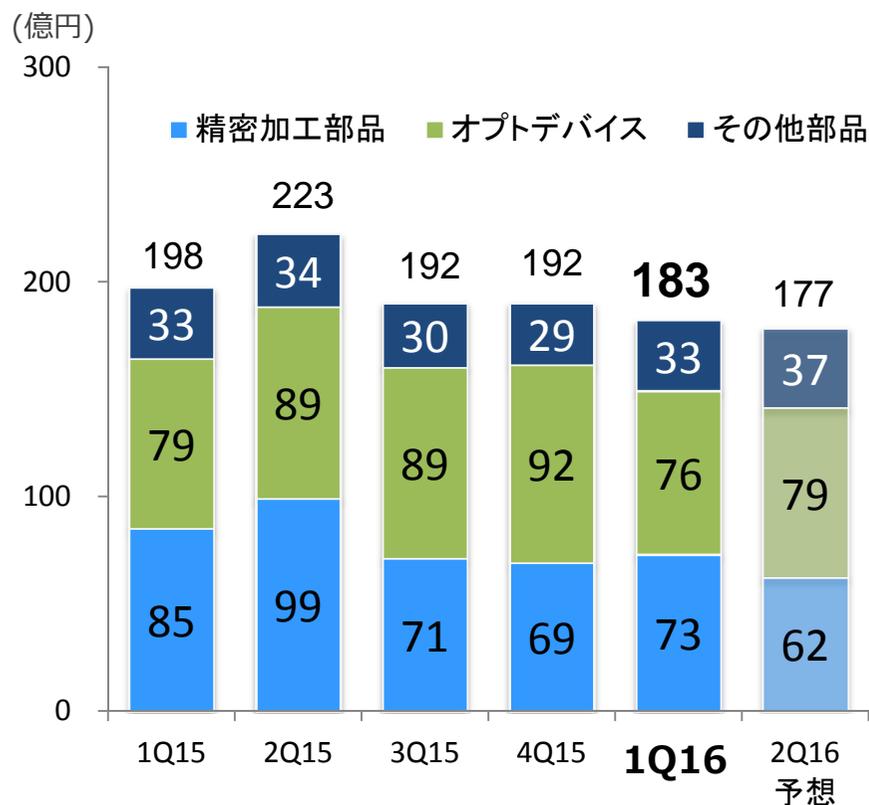
## 営業利益



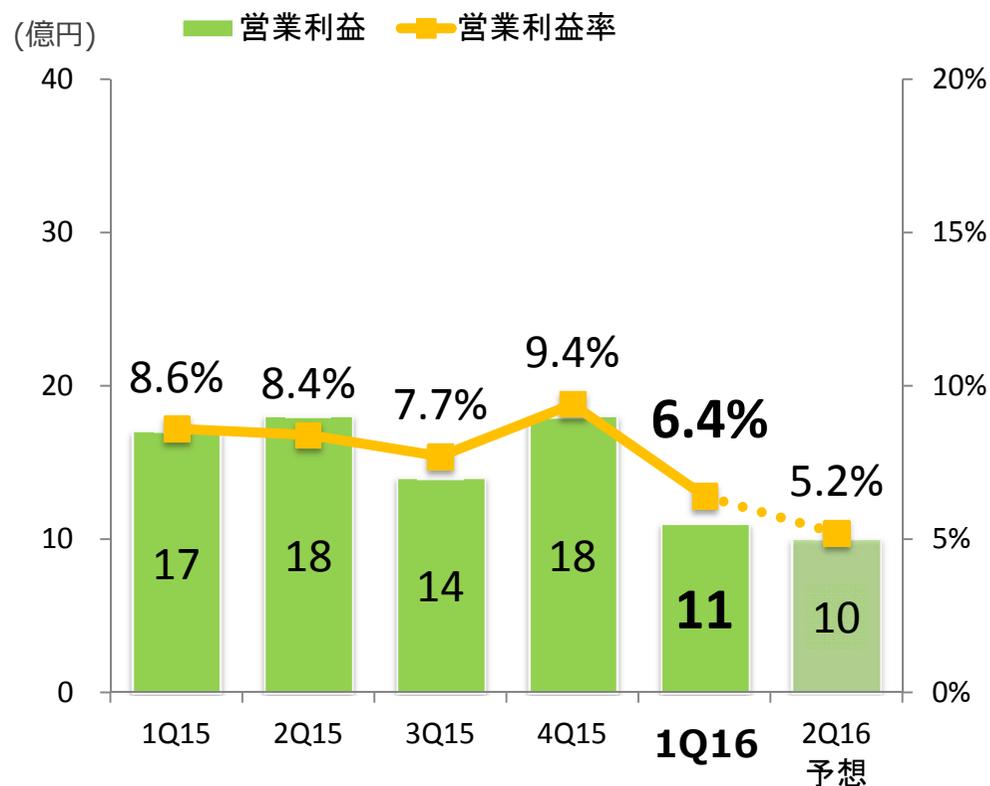
# デバイス事業 第1四半期業績推移

精密加工部品は、新製品効果が一服したものの、自動車部品、スイッチともに好調な状況  
 オプトデバイスは、販売が拡大しているものの、徐々に競争が厳しくなっている状況  
 その他の部品は、主要製品である水晶振動子、強誘電液晶マイクロディスプレイがともに低迷

## 売上高



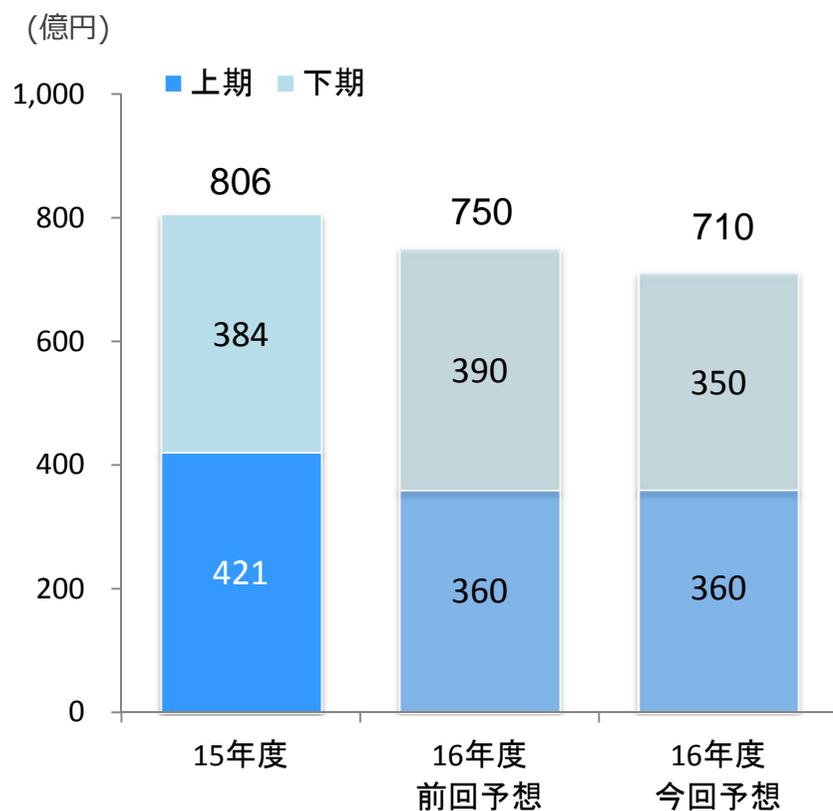
## 営業利益



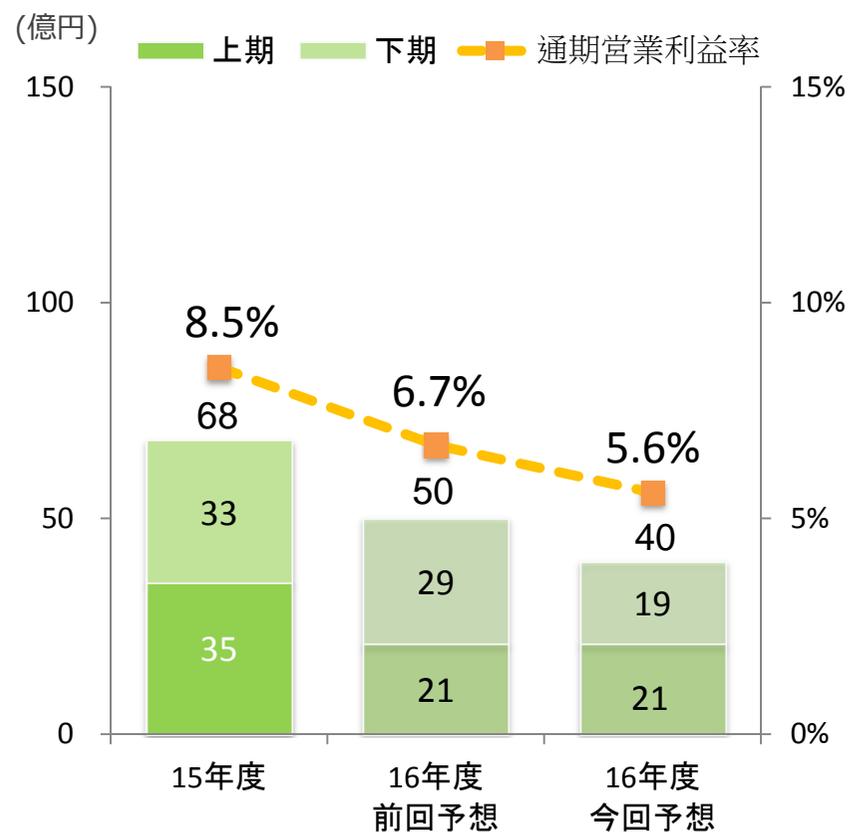
# デバイス事業 通期業績予想

下期予想前回対比 : 売上高▲40億円 (▲10.3%)    営業利益▲10億円 (▲34.5%)  
 通期予想前回対比 : 売上高▲40億円 (▲5.3%)    営業利益▲10億円 (▲20.0%)

## 売上高



## 営業利益



## 2016年度 上期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	前回予想		今回予想		通期での差異
	上期予想	通期予想	上期予想	通期予想	
売上高	1,670	3,400	1,570	3,190	▲210
営業利益	120	285	100	215	▲70
営業利益率	7.2%	8.4%	6.4%	6.7%	-
経常利益	120	290	80	195	▲95
親会社株主に帰属する当期純利益	80	190	50	125	▲65
為替レートの	¥110/USD ¥125/EUR	¥110/USD ¥125/EUR	¥106/USD ¥117/EUR	¥103/USD ¥114/EUR	▲¥7/USD ▲¥11/EUR

# トピックス

フレデリック・コンスタント社の  
株式取得



エコ・ドライブ発売40周年  
「Eco-Drive One」を今秋、発売

松屋銀座に巨大広告



**CITIZEN**